

2012 年度新卒視能訓練士就業調査状況調査 調査結果

目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握するために調査実施する。

対象：第42回視能訓練士国家試験合格者を輩出した全国の視能訓練士養成施設24校。

(大学7校、専門学校17校)

平成24年3月新卒視能訓練士就業状況調査結果

調査協力施設 大学7校中7校 専門学校17校中17校 全24校

就職先区分	大学	専門学校	全体	比率%	前年度増減数
1. 国立高度専門医療センター (ナショナルセンター)	1	0	1	0.2	0
2. 国立大学法人	13	18	31	4.9	2
3. 独立行政法人国立病院機構	4	4	8	1.3	▲6
4. 公立医療機関 (都道府縣市町村の病院及び診療所)	15	10	25	3.9	▲6
5. その他国立系の病院	1	0	1	0.2	▲4
6. 公立大学病院	1	4	5	0.8	1
7. 公立に準ずる病院及び診療所	4	8	12	1.9	▲9
8. 私立大学病院	30	14	44	6.9	1
9. 私立病院 (他科もある病院の眼科)	49	61	110	17.3	37
10. 私立眼科病院	8	26	34	5.4	▲20
11. 眼科診療所 (医療法人及び個人)	130	201	331	52.1	19
12. レーシックセンター (レーシックを主にしている眼科診療所)	0	1	1	0.2	▲18
13. 視能訓練士の学校または養成所	1	1	2	0.3	▲1
14. 大学院	2	0	2	0.3	▲2
15. 福祉関係	0	1	1	0.2	1
16. 病院・医院以外の医療関係企業	3	0	3	0.5	▲1
17. 医療関係以外の職業	5	2	7	1.1	4
18. 就職せず	10	7	17	2.7	6
19. 他大学	0	0	0	0	▲1
20. 他専門学校	0	0	0	0	▲1
合計	277	358	635		2

視能訓練士需給計画委員会実施

今回、調査協力をご依頼させていただいた24施設すべてから回答がありました。

2012年度は635名の視能訓練士が誕生いたしました。

今回の調査結果について

1. 新卒視能訓練士数

新卒視能訓練士数は2010年は591名、2011年は633名、2012年は635名でした。2010年から2011年は43名増加しましたが、2011年から2012年は2名の増加でした。

2. 就職先

開業医への就職は2010年296名(49.3%)、2011年312名(49.3%)、2012年331名(52.1%)となっています。2012年は新卒視能訓練士数の半数を超えました。この傾向は今後も続くと思われ、更なる需要が見込まれます。

私立病院(他科もある病院の眼科)は2012年は110名(17.3%)と2011年73名(11.5%)より37名増加しています。有資格者の採用が増加していると思われま

す。国立・公立関連は、2010年102名(17.3%)、2011年105名(16.6%)、2012年83名

(13%)と年々減少しています。定員化を推進していく必要があると考えられます。私立眼科病院は2011年54名(8.5%)と2010年より13名増えましたが、2012年には34名(5.4%)と2011年より20名減少しています。これは定員の移動が少なく採用が減ったと推測されます。

3. 就職意識

「就職せず」が2010年11名(1.9%)、2011年11名(1.7%)、2012年17名(2.7%)となっています。国家試験合格しても就職しない理由を次回からは調査していく必要があると思われま

す。視能訓練士の認知度を広めていくことは重要であり、今後も更に広報活動を積極的に推進し、養成校は明るく前向きな学生を獲得し、優秀な卒業生を輩出することで、視能訓練士業界が一層発展していくと思

います。視能訓練士需給計画委員会では就業状況の「今」を把握することができる内容でしっかり調査し、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきたく考えま

す。今後とも、皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

視能訓練士需給計画委員会